

インターロッキングブロック舗装 Technical Report

－ 設計編3 － (構造設計(その2))

Vol.18

1. 構造設計

(1) 舗装端部の拘束

IL ブロック相互間の噛み合わせ効果の確保と交通荷重による IL ブロックの移動を防ぐため、IL ブロック舗装の端部には、原則としてプレキャストコンクリート製品を施工します。

(2) 端部拘束物の製品事例と設置事例

- ① 端部拘束には、**図1**～**図6**に示す例のようにプレキャストコンクリート製境界ブロックなどを用います。境界ブロックの寸法例を**表1**に示します。
- ② 境界ブロックを使用する場合の基礎は、碎石(クラッシュラン等)を敷きならした上で捨てコンクリートを打設し、モルタルでレベルを取ります。
- ③ 端部拘束にプレキャストコンクリート製 L 型側溝を用いる例を**図7**に示します。L 型側溝は碎石(クラッシュラン等)を敷きならした上で、その上に空練りモルタル(容積比でセメント1:砂3程度)でレベルを取ります。
- ④ IL3(大型車舗装計画交通量 100 台/日・方向 未満)および IL4(大型車舗装計画交通量 100 台/日・方向 以上 1,000 台/日・方向 未満)では、現場の状況に応じて現場打ちコンクリートで端部拘束物を設置することもあります。



図1 片面歩車道境界ブロックの形状例

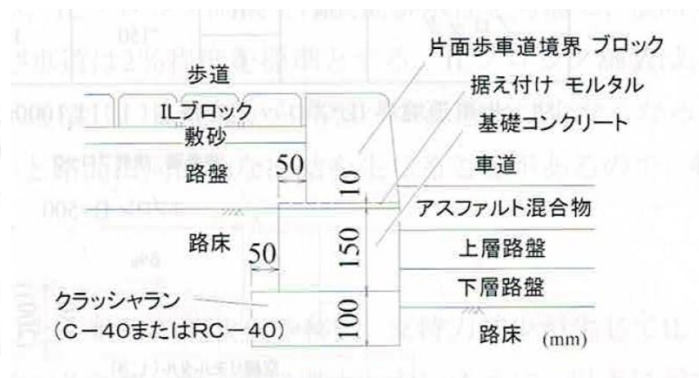


図2 片面歩車道境界ブロックの使用例

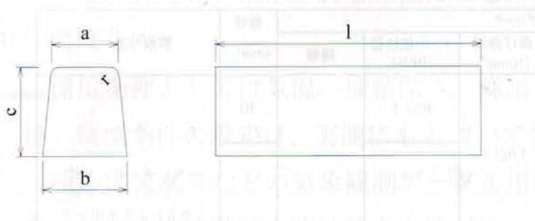


図3 両面歩車道境界ブロックの形状例

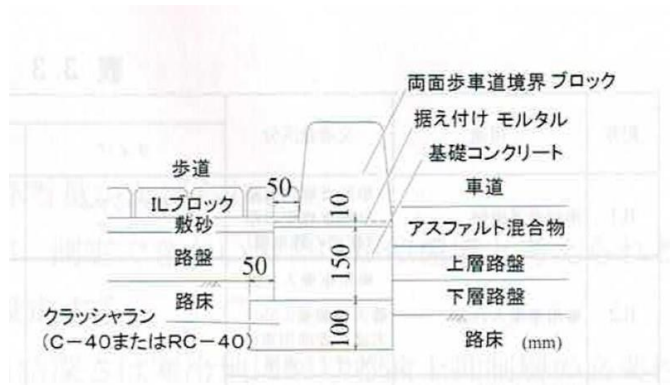


図4 両面歩車道境界ブロックの使用例

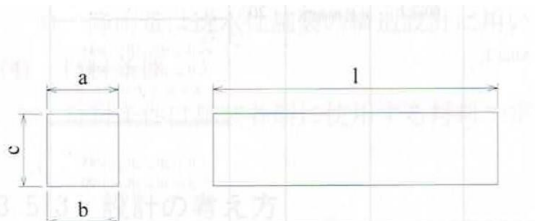


図5 地先境界ブロックの形状例

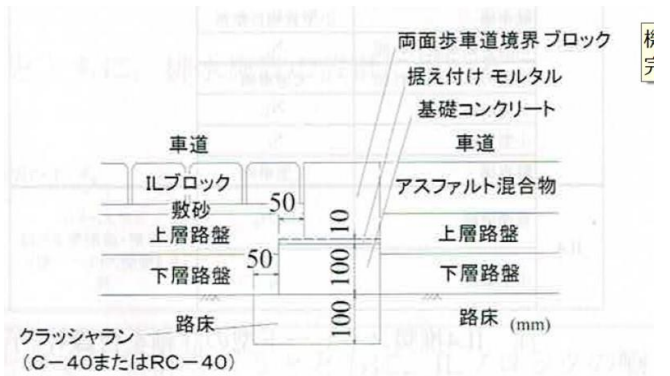


図6 地先境界ブロックの使用例

表1 端部拘束材に使用するプレキャスト製品の寸法例

種類	記号	呼び	寸法(mm)				
			上面の幅 a	底面の幅 b	高さ h	r	長さ l
片面歩車道境界 ブロック	片	A	150	170	200	20	600 注
		B	180	205	250	30	
		C		210	300		
両面歩車道境界 ブロック	両	A	150	190	200	20	600 注
		B	180	230	250	30	
		C		240	300		
地先境界 ブロック	地	A	120	120	120	-	600
		B	150	150			
		C					

注 歩車道境界 IL ブロックの長さ(l)は,1000mm または 2000 mmとすることができる。

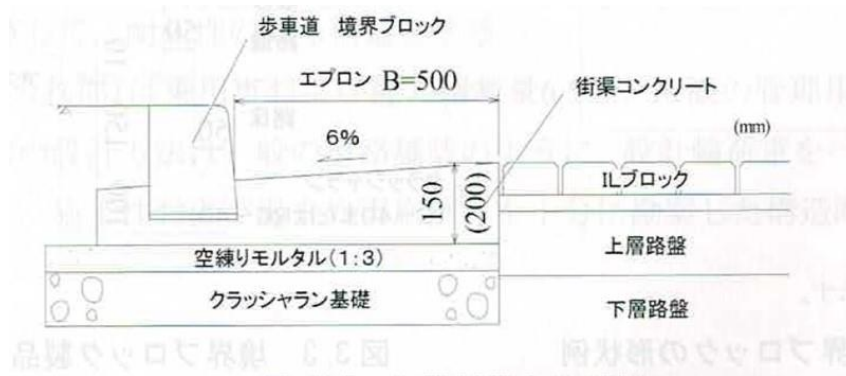


図7 端部拘束にプレキャストコンクリート製L型側溝を用いた例

以上